

■ 栃木県で農業体験

私（瑞慶村 知佳（ずけむら ちか））は、農村派遣研修を受け、農家にとってコメは他の作物に比べて特別な存在であることを教わり、コメに対する興味が非常に湧きました。農家の収入がもう少し安定するようになれば、農業は魅力的な仕事と感じました。

私は、農研機構に採用され、平成22年4月に農村工学研究所の企画管理部業務推進室に配属されました。新人教育の一環として、4月から農林水産省農村振興局で行政研修を受け、行政の仕組みや研究業務との関わりなどについて学んでいます。10月からはつくばの農工研に戻り、今後は研究者として、行政研修で習得した知識や経験を踏まえ、農家の方が安心して生産・経営できるような基盤作りに貢献していきたいと考えています。

- ・ コメを転作した飼料稲の区画です。10月20日頃の収穫予定で、Kさんご夫婦が雑草（特にヒエ）を採取しながら、成熟状況を確認されているところです。
- ・ 数日後に、契約している酪農協会の方の検査が予定されていたので、私も畦の草刈りを手伝い、念入りに作業を行いました。



- ・ 6条刈りのキャビン付大型コンバインを使用し、コメの収穫作業中のKさん。
- ・ 大型の農業機械を共同利用できるようになってから、作業効率がとても良くなったそうです。
- ・ 作業委託により、もっと経営規模の拡大を図りたいと抱負を述べておられました。

